

広島市立大学

研究シーズ集

(芸術学部)

2021



3つのひかり 未来をつくる
広島市立大学
Hiroshima City University



広島市立大学 研究シーズ集2021 目次

学部・研究科	学科・専攻	教員名	職名	研究テーマ	ページ
芸術学部	美術学科	前田 カ	准教授	日本画材料における作品制作 技術提供 共同研究	1
芸術学部	デザイン工芸学科	大塚 智嗣	教授	伝統文化の保存と継承及び新たな表現方法の研究	2
芸術学部	デザイン工芸学科	永見 文人	教授	金属工芸全般における表現及び技法の研究	3

【 日本画材料における作品制作 技術提供 共同研究 】

【 研究キーワード：日本画制作、古典研究、技法材料研究 】

芸術学部 美術学科

准教授 前田 力 MAEDA,Chikara

研究シーズの概要

日本画の制作手順や方法を説明し、地域住民の方々に日本画を体験してもらうワークショップを開催する。

研究シーズの詳細

◆研究例◆

・「日本画を描く」

スポーツと歴史とアートのまちづくりをすすめる横川で2013年から始まった地域密着型のアートプロジェクト「横川商店街劇場」に参加し、日本画を体験するワークショップを行った（2017）。

地域住民の方々を対象とし、広島市立大学日本画研究室のスタッフの指導のもとで、日本画の顔料・材料に触れ、小色紙に絵を描く。参加費は一人1,000円徴収し、残りは広島市立大学社会連携プロジェクト採択事業の資金を活用した。

完成した作品は、横川商店街劇場の期間（2018.9.16～9.24）に横川創苑のギャラリーにて展示を行った。



想定される用途・応用例

◆小学生から高校生を対象とした、日本画体験のワークショップ

セールスポイント

日本画はまだ馴染みがない方が多く、また制作過程も複雑で道具類を揃える必要もあるため、個人で気軽に始めるには少々難しい分野である。日本画を体験してもらうことで興味関心も持っていただき、美術を通して広島市の文化発展と地域の活性化に繋がればと考える。

問い合わせ先：広島市立大学 社会連携センター

TEL:082-830-1764 FAX:082-830-1555

E-mail:office-shakai@m.hiroshima-cu.ac.jp

〒731-3194

広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号

(情報科学部棟別館1F)



【 伝統文化の保存と継承及び新たな表現方法の研究 】

【研究キーワード:環境、美術、芸術、工芸、デザイン、漆、轆轤、木工、彫刻、インテリア、保存、修復】

【 芸術学部・美術学科 】

教授 **大塚 智嗣** Otsuka, Tomotsugu

研究シーズの概要

宮島細工(宮島ろくろ)の技術保存、新たな商品研究

熊野筆(木軸)技術の新たな商品研究

広島産漆の復興の研究

研究シーズの詳細

宮島特産品振興会、宮島細工協同組合との連携により宮島の新しいブランド商品や伝統技術の保存と継承を継続して行っている。卒業生や地元の青年を中心に技術伝統者や作家の育成にも取り組む。

広島産漆の育成と活用を目的とした研究として熊野筆の木軸を請け負う業者との企画により商品の制作に取り組む。

漆の胎毛筆

広島漆再生プロジェクト・広島木軸



写真提供:都野夏未



写真提供:広島木軸

想定される用途・応用例

- ◆伝統技術や文化を生かした新たな製品開発の提案
- ◆建築空間、室内空間における漆を用いた作品、インテリア、内装の提案
- ◆漆文化財調査、修復、復元等の研究

セールスポイント

漆を専門とした研究をしていますが、漆器や器のデザインを初め、インテリアなどを含めた空間演出、造形作品、そして文化財の調査、修復、復元などの様々な研究を行っています。

問い合わせ先:広島市立大学 社会連携センター

TEL:082-830-1764 FAX:082-830-1555

E-mail:shakai@m.hiroshima-cu.ac.jp

〒731-3194

広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号

(情報科学部棟別館1F)



【 金属工芸全般における表現及び技法の研究 】

【研究キーワード： 鍛金・彫金・鋳金、金属造形、金属彫刻、金属工芸、chisel work、casting work 】

芸術学部 デザイン工芸学科

教授 永見 文人 NAGAMI, Fumito

研究シーズの概要

金属を素材とした製品の開発、リデザインに関わる技術研究。

金属を素材としたモニュメント制作の研究。

金属工芸品の修復、復元等の研究。

研究シーズの詳細

◆研究例◆

◆ 社会人講座を活用して、企業社員の技術研修とともに新たな金属製品の開発。消えかけていた広島銅蝨の技術研修と試作を重ね、新たな製品化に結びつけた。



◆研究例◆

◆ 山口県立岩国総合高校 (旧岩陽高校)「大校章」の制作(1995年制作)：一般市民からの公募デザイン(平面)を立体的なデザインに起こし、実制作までを担当した。



◆ 広島 A.D.C(広島アートディレクターズ)賞トロフィー制作(2009年制作)：デザインと実制作を担当



◆ シニアアートフェスティバル受賞者用記念品制作(2011年制作)：展覧会の審査委員と商品のデザイン提案、実制作を担当した。



想定される用途・応用例

- ◆ 新たな製品開発の展開やリデザイン
- ◆ コーポレーションアイデンティティを示すモニュメント。公共モニュメント。
- ◆ 金属工芸等の文化財の修復、復元、レプリカ

セールスポイント

金属工芸技法については、古典から、最新テクノロジーを取り入れたものまで幅広く研究します。

金属製品のデザインと政策研究を行っています。

問い合わせ先：広島市立大学 社会連携センター

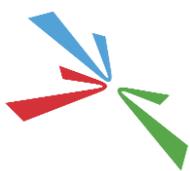
TEL:082-830-1764 FAX:082-830-1555

E-mail:office-shakai@m.hiroshima-cu.ac.jp

〒731-3194

広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号

(情報科学部棟別館1F)



3つのひかり 未来をつくる
広島市立大学
Hiroshima City University

〒731-3194

広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号

Phone 082-830-1500(代) Fax 082-830-1656